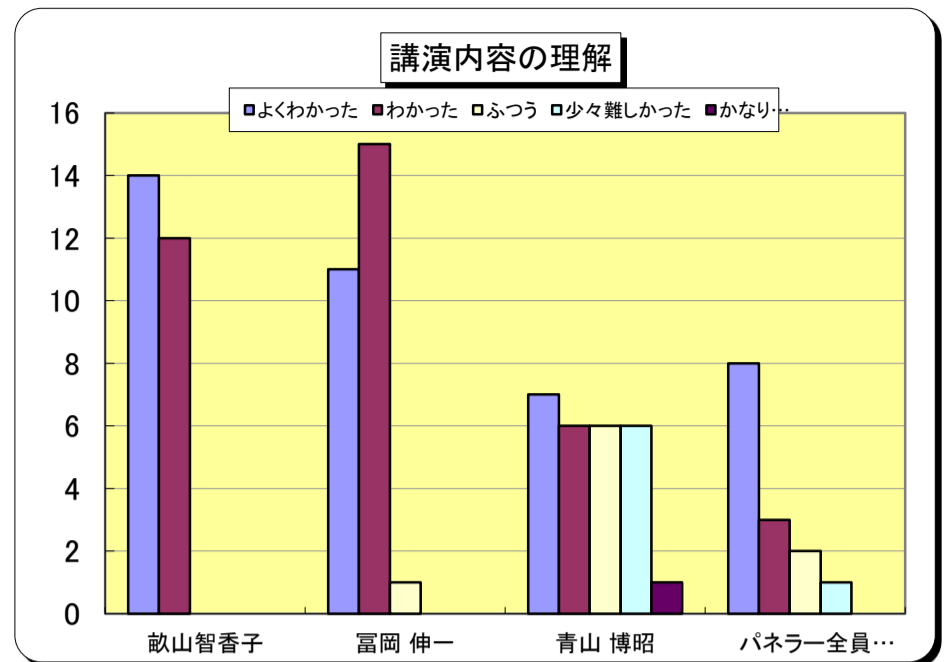
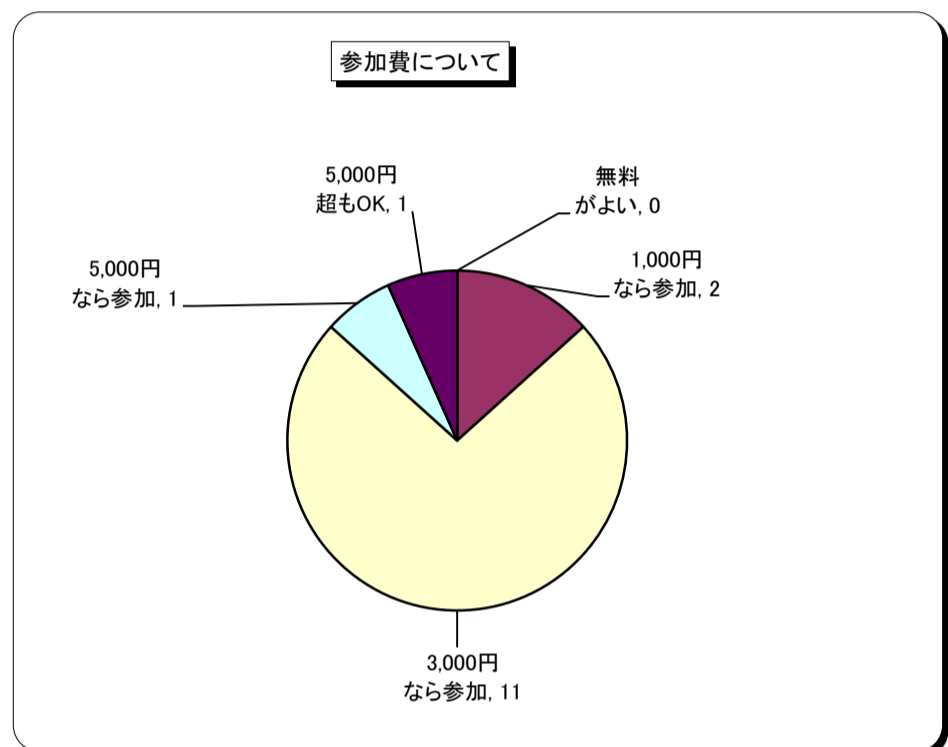


アンケート回収数27枚(参加者:48名、演者4名を除いた回収率:61%)

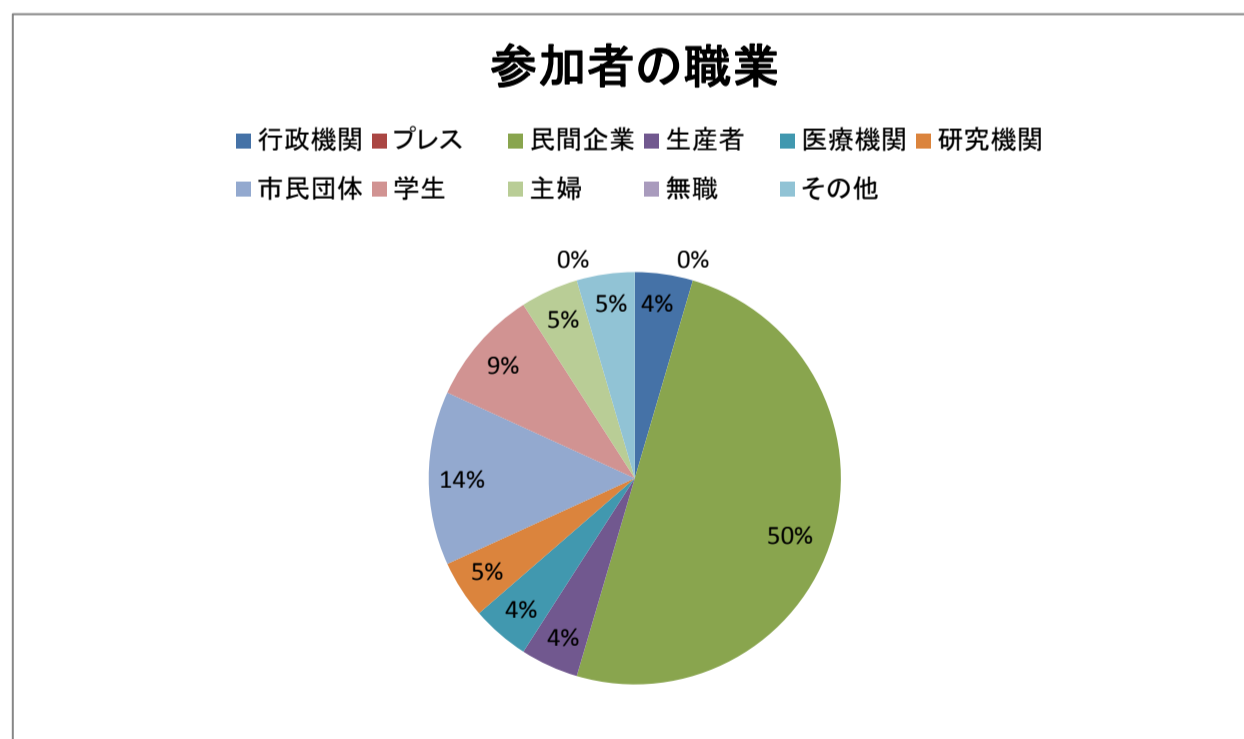
No.	テーマ	講師	よくわかった	わかった	ふつう	少々難しかった	かなり難解
1	リスクアナリシスで考える残留農薬	畝山智香子	14	12	0	0	0
2	食品企業の品質保証とリスク ~ウーロン茶葉の残留農薬品質保証を事例として~	富岡 伸一	11	15	1	0	0
3	毒性評価の現場からリスク・コミュニケーションを考える	青山 博昭	7	6	6	6	1
4	パネル・ディスカッション: 『市民の食の安心につながるリスクとは』	パネラー全員 進行:山崎	8	3	2	1	0



	無料がよい	1,000円 なら参加	3,000円 なら参加	5,000円 なら参加	5,000円 超もOK
今回のフォーラムの参加費(NPOへの賛助)についてどう思われますか?	0	2	11	1	1
今回のフォーラムについて、率直に思われたことを何でも教えてください。	(別紙)				
今後、食の安全・安心の分野で、どのようなテーマのシンポジウムを希望されますか?	(別紙)				
消費者市民のリスクリテラシー向上につながるリスクのために、いま何が必要でしょうか?	(別紙)				
当NPOから季刊誌を発行しておりますが、無料購読を希望される方はあて先(郵便番号・住所・氏名・所属機関等)をご記入ください。	(別紙)				
当NPOからメルマガ(ご案内メール)を不定期に発行しております。無料購読を希望の方はメールアドレスをご記入ください。	(別紙)				



職業	人数
行政機関	1
プレス	0
民間企業	11
生産者	1
医療機関	1
研究機関	1
市民団体	3
学生	2
主婦	1
無職	0
その他	1



1	リスクアナリシスで考える残留農薬	畝山智香子
5	メディアへの教育、売らんがためのあおりなどの対応にもっと有効な手段は無いのでしょうか。先生のお話はいつも説得力があってよく分かるのですが、私には。	
7	経験談を伺えるその「間」がすばらしい。リスコミが進んでいないと感じてしまう原因の一端を見た気がする。	
9	食品のイメージの図は良かった。使わせていただきたい。しかし、食経験の長さが科学的評価できないのかとも思いました。	
10	一般市民は通常TVや新聞などからしか情報は得られない(特に誤った情報)そういう中で、どのように情報を得るべきか、するべきか。わかりやすかった。	
12	いつもの食品のイメージ図は、良い／悪いの二元論にどっぷりの人には伝わらないのかもしれない。難しい。	
13	食品加工業者にとって、食品にはもともと膨大な多様なリスクがあるというのが、衝撃的でショックでもあった。	
16	明確な話し方で理解し易かった。但し、参加者は専門家であり、“ことば”を知っているか?“ことば”の選択が必要と考えています。	
17	TVの影響は少なくなったとはいえ、あるので、情報のミスリードが起らないようにしてほしい。	
18	わかりやすい発表でよかった。「食品のイメージ」のスライドは、6年前くらいにあるセミナーで見て、食品の安全に対する考え方が変わりました。中学生～高校生の授業で教えるくらいになるといいと思います。	
19	「食品のイメージ」図は食品は基本的に”危ない”という誤解を与える。日本の食品の安全管理(リスク管理)は相当行届いているので、安全性を強調すべきだろう。 ⇒畝山先生より 「食品は安全」ではないので安全に食べるためにやるべきことがあるのです。根本的な誤解があり、すべきことをしないために「生肉で食中毒」などという事例が無くならないのです。	
21	畝山先生の食の安全性に関する著書を購読したばかりなので、とても興味深かった。	
22	遅刻して聴けませんでした。残念	
23	食生活という中で添加物や農薬の問題が小さい事が良く理解できました。	
24	残留農薬や食品添加物を排除しようとする人の多くは、食品そのものが科学物質(化合物)であることを理解していない。これらがなぜ使用されるのか、安全性・必要性を伝えていくことの大切さを感じました。	
25	MOEの値を縦軸にしたグラフのスライドですが、上位の成分が危ないとの誤解を招くことはありませんか?(この位の値で管理されている、すべきと受け取りましたが)	
26	有識者は分かっているが、消費者への伝え方も問題だと感じた。一方で検査をやっている人間でも、「定量」が分かっている人間もいるので、気をつけないといけないと感じた。	

2	食品企業の品質保証とリスコミ ~ウーロン茶葉の残留農薬品質保証を事例として~	富岡 伸一
4	ウーロン茶葉回収事例から失敗した企業、しなかった企業のスタンスは興味深いものがありました。⇒いかに良くするか日々努力する。無理難題と思っても。	
5	企業としての取組は大変よく分かりました。中小の企業を取り込んだ食品業界全体として品質保証体制を構築できないのでしょうか。	
7	現場の体験談が面白い!	
9	具体的事例に話は聞いていておもしろいです。でもサントリーだからできるのかなとも思いました。	
10	ありがとうございました。	
12	海外(中国)の現状ならではの話がとても面白かった。スライドの順番が少しわかりにくかった。	
13	飲用時品質に、食品加工業としての使命を感じると、最終消費者の口に入るまで口に入れておいしいと感じていただく安心(安全が)基本と思います。	
16	SNS対応は示唆に富んで興味あり。	
17	サントリーさんの品質体制を学んでいきたい。	
18	わかりやすい発表でよかった。サントリー社の先進的な取組が学べてよかった。	
19	伊藤園ほかの自主回収は本当に必要だったのだろうか?たとえばドリフトで説明できるのだったら良かったのでは?	
20	どういった考え方から、どのように中国産ウーロン茶の対応をされたか、とても細かく面白く話していただけて有難かったです。	
21	サントリーさんの品質管理体制が素晴らしいものであると知ることができた。	
22	中国で検査センターを立ち上げた頃を思い出しました。	
23	中国の政府、国民性が問題の根源かと思われます。	
24	中国製の悪いイメージにしか捉えていなかった。安全な品質のため、SQAという大がかりなシステムは、今のサントリーの成功の一つですね。「やってみなはれ」の精神、見習いたいです。	
25	サントリーさんの思想が良くわかりました。	
26	非常に興味深い話であると同時に自社の取組がよく分かりました。	
27	サントリーさんの食の安全に対する取組がよくわかった。社内リスコミというものが大変おもしろかった。	

3	毒性評価の現場からリスク・コミュニケーションを考える	青山 博昭
4	動物実験の大変さを認識しました。	
5	難しかった。どれだけ苦労してデータを集めているかが分かりました。それを頭の悪い消費者にどう伝えられるかが重要だと思いました。これ以上詳細に調べる必要があるのでしょうか。	
6	しっかり復習します。	
7	私自身は、原子力関連事業の広報から、食農関係に移ったので、不安のもと⇒誤解がよくわかりました。言葉えらび大切ですね。	
8	本当によく理解でき良かったと思います。多くのヒントを得ることができました。	
9	専門的説明だけなので、どうとらえていいのかわからない。専門用語でつぶれてしまいました。	
10	大変かつ多くの検査を我々国民の安全のために日夜やっただけに感謝！もっと国民に知らしめることが必要。	
12	毒性学のさわりが分かりやすかった。途中のラットのサイログロブリン遺伝子変異の検出のところがとても面白かった。印刷資料でない方のスライドの色づかいが少し見づらかったので、コントラストをもう少し明瞭にしてほしいです。	
13	食品加工業者にとって、一定量の農産物確保は不安であり、そういう意味からも情報提供は必要と思います。最近のリスクの少ない農薬での野菜・果物確保は調達として難題です。	
15	歯ごたえはありましたが、とても興味深い内容でした。	
16	専門的話が多く、理解困難な部分あり。	
17	とても大変な仕事と思いました。	
18	専門用語がところどころにあり、少し難しかった。今まで聞いたことのない農薬の評価について話を聞いたのはよかった。	
19	自然突然変異による異常の頻度を実験データから具体的に示せないか？	
20	毒性評価の具体的な流れが分かって良かったです。	
21	不検出基準のもの（遺伝子障害に基づくもの）にはなぜADIが設定できないのか。いまいち理解できていなかったが、今日先生のイニシエーター、プロモーターのお話を聞いて理解することができました。ありがとうございました。	
22	たいへんわかりやすく、丁寧に説明していただき、ありがとうございました。	
23	イメージは理解できましたが、詳細部分は難解でした。	
24	農薬の安全性について、これだけ追求されている事が、一般市民に伝わっていないことが残念。必要性があり、安全のために利用されていることを、もっとインフォメーションしてほしいです。	
25	EUの化学物質の規制のワケが少しわかりました。	
26	毒性実験の方法と考え方がよく分かった。	

4	パネル・ディスカッション：『市民の食の安心につながるリスコミとは』	パネラー全員 進行：山崎
5	確かに用語の説明は重要だと思う。議論の内容は身近な問題が多かったので良かった。	
16	理解が深まりました。	
18	各発表では聞けない話も聞いてよかった。	
23	自主回収の話がありましたが、基準を超えても安全に問題がない事の説明に自信がない（追求された際に返答する自信がない）為、楽な回収判断届けになると思います。専門家の判断があれば助かると思います。	
25	いつもフランクで良いです。	

5	今回のフォーラムについて、率直に思われたことを何でもお教えてください。	
1	食関係の大学へ通う学生へ、よりこの企画を知らせるべき。	
2	専門外なので、初めて知ることが多く、非常におもしろかった。	
3	様々な視点から、一度にまとめて話を聞くことが出来まして、大変有意義なフォーラムでした。	
4	残留農薬の安全性への努力が理解できた。	
5	楽しいパネルディスカッションで良かった。	
7	とても「楽しかった」です。対立をしたい人がいなかったからでしょうか・・・	
11	大変有意義に過ごさせていただきました。	
12	おもしろかった。	
15	講演のテーマのバランスも良く、とても理解できました。	
16	やや専門的すぎるくらいがあった。が、私には役立つ情報が入手できました。	
17	農薬についてのリスコミは知財のからみがあって難しい。	
20	専門家の先生の考えを割とフランクに話を伺うことができて良かったです。	
21	農薬の分析をしているので、今回のテーマはとても興味があり勉強になりました。	
23	食品会社の品質保証を業務としています。いつも木ばかり見っていますが、今日は森が見られて（聞けて）良かったと思います。	
24	外食でよく目にする「無添加」消費者にはウケが良いのであろうが、疑問に感じる。農薬や添加物が過去に乱用されたイメージのまま固定されてはならないだろうか？食品業界が利益重視でなく、市民の安全、安心のために尽力している事をもっと理解してほしい。	
25	HPへのスライドPDFの掲載が早く助かっています。	
26	消費者が考えること放棄していると思いました。	

6 今後、食の安全・安心の分野で、どのようなテーマのシンポジウムを希望されますか？	
2	オーガニックのリスクについて、自然毒や その他、危険性と事例などが知りたい。HACCPの考え方を取り入れた衛生管理を行うにあたって、小規模企業が理解できるようにするには、どうしたらよいか。
5	放射線照射食品の安全性
7	”安心”とは何かを、心理学分野で掘り下げたシンポジウム(これからの安心・・・の方がよいか？)
8	食習慣による長期間な健康影響について。特に栄養面について。また時間栄養学的な視点も加えて。
10	遺伝子組換え作物の影響の有無
11	法改正の一般企業の取組と政府の現状進捗
17	天然物のリスク、SNSネットのリスク
22	学校における教育について
26	HACCPと今後の展開及び諸外国での対応状況について
27	反安全派を招いた会があれば、10,000円でも参加します。

7 消費者市民のリスクリテラシー向上につながるリスコミのために、いま何が必要でしょうか？	
1	専門家の講演回数を増やす。
2	専門家と非専門家をつなぐオーソライズされた親しみやすいメディア
5	科学に基づくリスク評価のキャンペーンをメディアを通じてできないか。
7	これからの”合意”をテーマにしたコミュニケーション
10	国も関係機関ももっと、国民に丁寧に説明するべき。又、この国のマスコミは、煽ることは得意だが、正しい情報を伝えない。マスコミの教育も必要。
12	サイエンスの分かるマスコミが必要なのではないか。リスクに関心のある消費者がアジェンダにのみこまれるのを防ぐものが必要だと思う。
15	土台になるデータの公開と、それを読み解いて紹介する人材でしょうか？
17	学校です。先生や栄養士、文系者のレベルを上げなくては。
22	正しい情報を広く流すことと思います。地道ですが。
23	マスコミ、Yahooトップページに勝つ事
26	消費者自身が学習しないと難しいかもしれない。SNSなど多様に活用すること。